

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	なないろプラス		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～ 令和8年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～ 令和7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動が固定化されないように工夫している。	・季節に応じた活動やクッキング、公園遊びなど、さまざまな体験を取り入れながら、子どもたちが興味・関心を持って楽しく取り組めるよう意識して支援を行っている。	・支援内容の充実性を図り、子どもたちが更に楽しみながら取り組めるよう支援を行っていく。
2	・職員が幼稚園や保育園、療育など様々な現場での経験を有しており、その知識や支援方法を日々の活動に活かしている。	・子どもたちの興味や発達段階に応じて多様な活動や遊びを取り入れ、楽しみながら主体的に参加できるよう工夫している。また、運動遊びでは平均台やラダーなどの手作り教材を活用し、一人ひとりに合わせた無理のない形で身体の使い方を学べるよう支援している。	・今後も子どもたちが「楽しい」「またやってみたい」と感じられる活動を大切に、意欲や自信へとつながる支援に努めていく。 ・既製品だけでなく手作りの教材や遊具も取り入れ、子どもたちがより楽しみながら参加できるよう、工夫を重ねていく。
3	・隣接するファミリーマート様に協力していただきながら、制作物の展示やイベントを行っている。（ハロウィンや壁面の掲示等）	・隣接するファミリーマート様にご協力いただき、子どもたちの制作物を掲示していただいている。ファミリーマート様からもご好評いただいております。子どもたちはご家族と一緒に自分の制作物を見ながら、楽しむ様子が見られています。	・今後も子どもたちが楽しめる制作やイベントに取り組んでいきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・マニュアルの周知。	・マニュアルの計画をホームページには掲載しているが、閲覧されているかどうかはわからない。	・ホームページに掲載していることを保護者の方へ周知を図っていく。
2	・保護者同士の交流の機会が少ない。	・保護者の方も仕事をされていることもあるが、事業所として交流の場を十分に設けられていない。	・今年度の親子療育では、普段の支援の様子を見ていただく機会を設けた中で、保護者同士が自然に会話をされる姿も見られた。しかし、継続的な交流の機会としてはまだ十分とは言えないため、今後は保護者同士がつながりを持てる場を意識的に設けられるよう、内容や方法を検討していきたい。
3			